

「いえしまフィールドワーク1」

1



姫路港に集合。

いよいよ、いえしま上陸

プロジェクトの3日目。姫路港に集合し、いえしまへ向かう高速艇に乗船しました。(1) これまで詳細のわからなかったいえしまへの期待感からか、みんな甲板へ飛び出し写真を撮ったり、景色を眺めたりと道中を非常に楽しんでいました。(2)



ちょっと休憩で、プリンを購入。。

2



船に乗り込み、いえしまを目指す。

いえしま到着

姫路港を出航し30分後、真浦港に到着しました。その後、昼食へと移り、まちづくり研修会の紹介も行われました。(3)



「家」グループの作業風景。

3



大立旅館で昼食をとる。

家チームフィールドワーク

家チームは、初日のフィールドワークとして密集居住地の宮地区を出発点と決めました。住宅密集地区の路地を奥へ奥へと探索し様々なものを見て聞いて体験していきました。みんなが見て回りたいと言っていた火葬場、墓地等を経由しながら、万休地蔵苑や清水公園、家島神社、宮浦神社等を訪問しました。フィールドワークを通して発見したことは、家島内には段差がありその段差には様々な面白い要素が隠れているのではないかとことです。さらに、トマソンのおもしろさのある外灯や街中のらくがき、町中の風景に取り込まれた廃墟や壊れた車等も家島の面白さとして意見を出し合いました。



「島」グループの作業風景。

4



フィールドワーク開始。まずは市街地から。

島チームフィールドワーク

島グループは、真浦の路地から海沿いに宮へ向かうルートを散策しました。真浦の狭く曲がりくねった独特な風景をドンドン写真に収めていきました。宮浦神社では、個性的な宮司さんから祭りのお話を聞かせてもらえ、家島の文化を垣間見ることができました。役場に戻っての意見交換では、それぞれが撮った写真を紹介し合い、視点の多様さも認識しあうことで、より家島のことを深めることができました。ベストショットを選ぶ中で自分たちがどんなものを面白いと思うのかについて意見交換し合う中で、路地の中にでてる広場が家島の面白さにつながるのではないかと考えています。



「島」グループの作業風景。

5



魚の行商でにぎわう港を見学する。

町チームフィールドワーク

町グループは、真浦の街中を散策することから始めました。急な坂を上った先に待っていたのは城山公園。そこからの眺望を望みながら、写真を何枚も何枚も撮りました。続いて宮の街中を散策。真浦とは違った趣の町並みにたまたまシャッターを切りました。家島神社も訪ねて、今日のフィールドワークは終了。役所に帰ってから、カメラに収めた写真の紹介をしました。集めた素材を基に家島の面白さをみんなでシリーズ化して提案。スペースシリーズやお掃除セットシリーズ、時計シリーズ、張り紙シリーズ等々。家島の生活感あふれたおもしろさをまだまだ発見できそうです。



旅館で魚づくしの夕食をとる。

6



海岸線を歩くメンバー。他のグループに出会うたびに情報交換をする。

発表会

旅館に戻ってからも意見をまとめる作業は続きました。夕食後(11)に一部屋に集まって発表会を行いました。街をいろんな視点で切り取ったときに発見できる風景が意見として多くあがりました。(12) 2005.10.28 at 家島本島



旅館の一室で、この日に撮った写真を説明する。